学校番号	３１２

令和３年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	第２学年	・増進堂「FLEX English Communication Ⅱ」 ・美誠社「WordBox Advanced」 ・第一学習社「Active Listening 3」 ・啓隆社「READING CORE 2」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語はスポーツであるという考えを基に、オーバーラッピングやシャドウィングを駆使して、リプロダクションやリテリングを目標にします。心と身体を精一杯用いて、コミュニケーションをとるよう心がけましょう。

・コミュニケーション英語Ⅱは「話すこと（アウトプット)」「書くこと」、「聞くこと（インプット)」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。言語活動を多く行うことで、英語そのものに慣れ親しんでもらいます。授業では活動に積極的に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、特に語順に注意を払い、インプット・アオウトプット共に、段階を踏んで力を上げていきます。英語の情報・意味を伝える語順を身体に染み込ませていきます。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習のひとつです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、イメージをもちながら、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位）

及び「英語表現Ⅱ」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した副教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験 したことに基づき 、考えなどについて、意見の交換をしたりすることができる。 ・事実に基づいて自分の意見を述べることができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話そうとすることができる.	コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅱ インタビューテスト スピーチ	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験 したことに基づき、考えなどについて、意見を簡潔に書くことができる。 ・すでに学習した文法や表現を正しく用いて文章を書くことができる。	コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅱ 定期考査 レポート	・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、必要な情報などをとらえることができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞こうとすることができる.	コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅱ リスニングテスト	・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などを意識しながら読むことができる	コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅱ.音読テスト 定期考査 レポート

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を明確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に判断できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (10 時間)	日本とアメリカでの桜の意味合いの違いを知り、日本の桜がどのようにアメリカに渡ったかの話を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・日本とアメリカの桜に対する意味合いの違いや、歴史的背景について読み，特徴を理解しようとしている。 ・クラスメイトと一番好きな花について情報交換しようとしている。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。	・ワシントンの桜が持つ特別の意味を説明することができる ・自分の好きな花について，その理由や関連する情報をまとめる。	・イラストを使って本文の内容を説明することができる。 ・自分の好きな花について，その理由や関連する情報を表にまとめて，クラスで情報交換することができる。	下記の教科書のパートを利用して言語活動を観察する。 ・Sound Tips ・Comprehension Questions
		「外国語理解の能力」			
		日米の桜に関する風習について読み，その違いや特徴を理解する。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・桜がアメリカに渡った経緯や、それに尽力した人々の話を読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動名詞・動名詞の意味上の主語 ・同格 ・完了形+受身の表現	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	動名詞の意味上の主語，同格，完了形+受身の表現，本文中に出てきた語法・熟語を使って，指示にそった適切な英文を書くことができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson２ (10 時間)	・夢を持つこと，それを実現させる情熱やアイデアを読み取らせる。 ・風船撮影がどのように行われるかを読み取らせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。 ・岩谷の考える発明，夢についてクラスで発表することができる	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	・カタカナ音，摩擦音，はじくＴ音(t がｒに聞こえる)，連結音に注意して，提示された英文を音読することができる	・ペアでの言語活動を観察する。 ・スピーチ原稿を提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・風船カメラの特徴を読み取ることができる。 ・岩谷がヒーローに自らを重ね合わせた理由を読み取ることができる。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・風船カメラの特徴を読み取ることができる。 ・宇宙から地球の美しい写真が撮れるまでの努力を読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・風船撮影について関心を持っている。 ・助動詞+完了形，不定詞の否定形，不定詞+受身の働き，形を理解している。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	下記の文法を理解している ・助動詞+完了形 ・不定詞の否定形 ・不定詞+受身	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson３ (10 時間)	・人類の進歩にとって，塩がいかに重要な役割を果たしてきたかを読み取らせる。 ・塩の需要が高まるにつれて塩の価値がどのように高まったかを読み取らせる。 ・塩が食物を保存させる力があること発見されて以来，人類がどう進歩したかについて読み取らせる。 ・塩が昔からの習慣，日常生活，宗教とどのように結びついているかを読み取らせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。 ・塩の価値に対する歴史的変遷を説明することができる	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。 ・古い習慣，俗信，宗教における塩の役割について具体例を発表できる。	・イラストを使って本文の内容を英語で説明することができる。 ・日常生活で塩が果たす役割を，クラスで発表することができる	下記の教科書のパートを利用して言語活動を観察する。 ・ Sound Tips ・Comprehension Questions
		「外国語理解の能力」			
		・人類と塩の関係，農業発達以降の塩の重要性と価値を読み取ることができる。 ・塩が日常生活でいかに使われているかを文化的観点から読み取ることができる。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・人類と塩の関係，農業発達以降の塩の重要性と価値を読み取ることができる。 ・塩の食品保存能力がもたらした結果生じた人類の進歩を読み取ることができる。 ・塩の現状と科学的観点からの新しい価値を読み取ることができる	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・歴史的，文化的，科学的に塩が果たした役割について理解している。 ・無生物主語構文，不定詞+完了形，助動詞+受け身の表現について，それぞれの意味や働き，形を理解している	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	各文法事項の用法を正確に理解し，適切に使うことができる	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson４ （10 時間）	ウミガメの生存は人間次第であることを読み取らせる。 ・ウミガメの生態を読み取らせる。 ・ウミガメの運命は人間に託されていることを理解させる。。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。 ・子ガメが直面する問題について，グループで意見を交換することができる。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う ・ウミガメの身体的特徴を挙げることができる	・この単元で学んだ語句や表現を用いて読んだ内容に基づいて、説明できる。 ・ウミガメの絶滅を防ぐ方法をクラスで発表することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・ウミガメの身体的特徴を読み取ることができる。 ・ウミガメの渡りと産卵時のメスの行動を読み取ることができる。 ・子ガメが直面する問題を読み取ることができる。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・ウミガメの身体的特徴を読み取ることができる。 ・子ガメが直面する問題を読み取ることができる。 ・筆者のメッセージを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・絶滅の危機に瀕している生物を救うことに関心を持っている。 ・as if + S V / 疑問詞+to do / 未来進行形について，それぞれの意味や働き，形を理解している。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	as if + S V / 疑問詞+to do / 未来進行形について，それぞれの意味や働き，形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 (11 時間)	・人間図書館の目的を読み取らせる。 ・人間図書館の本が具体的にどんな本かを理解させる。 ・失読症で苦しんだ人の経験を読み取らせる。 ・「ビッグイシュー」の活動について具体的に読み取らせる。 ・人間図書館から本を借りることによって読者が得られることを読み取らせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。 ・失読症の人の悩みを本文の内容に沿ってリテリングすることができる	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。 ・少数派，多数派について，グループで意見を交換することができる	・人間図書館とは何かを説明することができる。 ・少数派，多数派について，グループで意見を交換することができる。 ・少数派に目を向けるアイデアをクラスで発表することができる	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・人間図書館で体験できることがらを読み取ることができる。 ・失読症が引き起こす苦しみを理解することができる。 ・「ビッグイシュー」運動について読み取ることができる。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・失読症が引き起こす苦しみを理解することができる。 ・少数派に目を向ける重要性を読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・人間図書館の着想に関心を持っている。 ・分詞構文の否定，結果を表す不定詞，挿入，それぞれの意味や働き，形を理解している。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・分詞構文の否定 ・結果を表す不定詞 ・挿入	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (11 時間)	・坂の建築家としてのポリシーを読み取らせる。 ・緊急避難施設の建設にダンボールの紙管を使う理由を読み取らせる。 ・坂のその後の活動に対する契機となった出来事を読み取らせる。 ・現在の坂の世界的な活動とその理由を読み取らせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。 ・坂に大きな影響を与えた出来事を本文の内容に沿ってリテリングすることができる。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。 ・坂の他国での活動についてグループで意見を交換することができる。	・坂の他国での活動についてグループで意見を交換することができる。 ・坂の若者へのメッセージについて議論しクラスで発表することができる	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・坂の活動の根幹にあるものを読み取ることができる。 ・坂の活動に多大な影響を与えた出来事を読み取ることができる。 ・坂の他国での活動について読み取ることができる。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・坂の活動の根幹にあるものを読み取ることができる。 ・坂の他国での活動について読み取ることができる。 ・坂の若者に対するメッセージを読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・紙管の緊急時住宅の建設に関心を持っている。 ・現在完了形，be + to , if S were to V, S would …やそれぞれの意味や働き，形を理解している	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・現在完了形 be + to , ・if S were to V, S would …	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson８ （11 時間）	・人工知能のこれまでの進化を読み取り，将来における進化を推測させる。 ・現在人口知能に可能なことを読み取らせる。 ・人工知能が人間に劣っている領域を理解させる。 ・人工知能に対する深層学習の応用を読み取らせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。 ・人工知能の応用範囲を挙げることができる。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。 ・人工知能の限界を本文の内容に沿ってリテリングすることができる。	・真相学習についてグループで意見を交換することができる。 ・人工知能に負けない姿勢について話しクラスで発表することができる	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・人工知能の応用範囲を理解することができる。 ・人工知能と人間の知能の違いを読み取ることができる。 ・深層学習による人工知能の進化を理解することができる。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・人工知能の応用範囲を理解することができる。 ・人工知能に脅かされない能力について理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・人工知能，職業の喪失等について関心を持っている。 ・完了形分詞構文，未来完了形，仮定法現在のそれぞれの意味や働き，形を理解している。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・完了形分詞構文，未来完了形，仮定法現在のそれぞれの意味や働き，形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (11 時間)	・サプールとしての生き方を読み取らせる。 ・サプールはどのような外見のひとたちか読み取らせる。 ・サプールの誕生の歴史的経緯を理解させる。 ・サプールとして生きる理由を理解させる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。 ・サプールとは何か，ということについて説明することができる。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。 ・テッドがサプールになった経緯を本文の内容に沿ってリテリングすることができる。	・イラストを使って本文の内容を説明することができる。 ・サプールの歴史についてグループで意見を交換することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・サプールとは何かを読み取ることができる。 ・サプールでいることの意味を理解することができる。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・サプールとは何かを読み取ることができる。 ・サプールの歴史について理解することができる。 ・サプールの持つ強い信条を理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・サプールという文化に関心を持っている。 ・独立分詞構文，倒置，完了形の分詞構文の受身の意味や働き，形を理解している。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・独立分詞構文，倒置，完了形の分詞構文の受身の意味や働き，形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson10 (11 時間)	・グーグル誕生の逸話を読み取らせる。 ・グーグルの発案者ラリーという人物について理解させる。 ・グーグル誕生のきっかけとなったプログラムについて読み取らせる。 ・ラリーの若者へのメッセージを理解させる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。 ・誰がいつグーグルを考案したかを説明することができる。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	・イラストを使って本文の内容を英語で説明することができる。 ・ラリーのメッセージについて議論し，クラスで発表することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・グーグルがいつ誰に考案されたか理解することができる。 ・夢を実現する方法を読み取ることができる。 ・要請講座の標語の内容を読み取ることができる。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・夢を実現する方法を読み取ることができる。 ・ラリーのメッセージを理解することができる。。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・突拍子のない考え方に関心を持っている。 ● All you have to do is ~/ manage to do / what if ~ / be aware that ~/ it seems like~ / use up の表現を理解しそれぞれの意味や働き，形を理解している。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・All you have to do is ～ ・manage to do ・what if ～ ・be aware that ～ ・it seems like～ ・use up	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。